

■e-黒板ニュース（第2号）：平成15年度のe-黒板調査報告要約版の公開

C E Cでは、小・中・高等学校に整備されるIT機器の中でその有効性が期待される「電子情報ボード」の要件調査と教育への利活用方法の調査・研究等を行うことを目的として、平成15年度に「e-黒板研究会」立ち上げ、アンケートおよびインタビューによる調査を実施しました。

その調査結果がまとまりましたので、Webで公開するとともに、その一部をお知らせします。

今号の目次：

- =====
1. 「電子情報ボードの利活用に関する調査」報告要約版の公開
 2. 「電子情報ボードを活用した授業実践事例集」CD-ROMのご紹介
 3. スロバキアからの報告：by上野浩司（沖縄尚学高等学校）
- =====

お友達への再配信またはご紹介は、ご自由どうぞ。また、配信中止のご連絡もお願いします。（7月22日現在の会員数は73名→130名です。）

会員の皆様からの投稿もお待ちしています。現在募集中のテーマは、

- ・「電子情報ボードを活用した授業実践事例集」CD-ROMを利用した教員研修
- ・「電子情報ボードの教育的効果」について：ご意見・実践事例等
- ・企業からの「お得情報」：機器の貸出・特別価格制度・モニター募集等のお知らせ

です。
宛先はいつでも ekokuban@cec.or.jp です。

1. 「電子情報ボードの利活用に関する調査」報告要約版の公開

C E Cでは平成15年度に「電子情報ボードの利活用に関する調査」を実施しました。今回その要約版をホームページに公開しました。

詳しくは、
<http://www.cec.or.jp/e2a/ekokuban/h15rept.pdf>
をご覧ください。

(1) 調査目的

小・中・高等学校に整備されるIT機器の中で、その有効性が最も期待される汎用的なツールである「電子情報ボード」を先行的に活用している教員を対象として、その要件調査と活用方法の調査・研究等を行い、その成果を公開することにより、学校現場における教育の情報化をさらに促進することを目的として調査しました。

(2) 調査項目

調査項目は以下の通りです。

- ・小・中・高等学校における電子情報ボードの活用状況調査および有効性の検証
- ・電子情報ボードに関するハードウェア/ソフトウェア/アプリケーション/コンテンツの要件調査
- ・電子情報ボードに関する活用事例の収集と評価
- ・電子情報ボードを活用したモデル的授業用コンテンツの収集

(3) 調査期間

平成15年9月3日（水）～平成16年2月25日（水）

(4) 調査件数

- ・実施地域：28地域
- ・学校数：135校（小学校：82校、中学校・高等学校：64校、その他：13校）
- ・回答者数：199名

(5) 調査結果概要

今回の調査でわかったこと（抜粋）

○活用状況

- ・基本的機能は利用または利用予定
電子情報ボードの基本機能である「映せる」「PCを操作できる」「書ける」については、現状利用については約17%と活用途上であることをうかがわせるが、利用予定の回答をあわせると約85%との回答結果があり利用に向けての意識の高さを表す結果となった。
- ・今後活用したい機能
基本3機能に加え、「記録保存できる」「映したものを移動できる」との応用機能についての解答も、利用予定をあわせると70%を超えており、電子情報ボードの機能への利用意欲の高さと機能の理解が進めば、活用度は大幅に向上することが予想できる。
- ・PCの経験年数を問わず活用が可能
回答者のPC利用経験年数と電子情報ボードの利用度には相関がなく、電子情報ボードはPC利用経験年数を問わず活用されていることがわかった。

○電子情報ボード活用の期待効果

- ・期待効果
主たる評価の対象として4つの観点について質問した結果、「関心・意欲・態度」が

26%、「思考・判断」が24%、「技能・表現」が29%、「知識・理解」が21%となった。これから教師が目指す電子情報ボード活用の目的には偏りがなく、いろいろな観点の効果を期待していることが分かった。ただし、詳細を見ると教科ごとに評価の対象となる観点にはそれぞれ特徴があるように思われる。

- ・活用場面と教育的効果の事例
- 活用場面に対する自由記述回答数は92件得られた。

○電子情報ボードへの機能改善要望

- ・高さ調節の簡易化
- ・ボード・PC・プロジェクター間のワイヤレス接続
- ・キャリブレーション（位置設定）の簡易化
- 等

2. 「電子情報ボードを活用した授業実践事例集」CD-ROMのご紹介

平成15年度 e-黒板研究会の活動成果のまとめとして制作しました。

内容は以下の通りです。

- (1) 平成15年度 e-黒板研究会の活動概要
- (2) 特別寄稿「電子情報ボードの活用の現状と課題」（清水 康敬 氏）
- (3) 電子情報ボードを活用した授業実践事例のビデオクリップ
 - ・電子情報ボードを活用した「わかる授業」
 - 岡山県の取組み：「みて！みて！IT」
 - ・漢字のなりたちについての学習に活用した事例（小学校「国語」）
 - ・同音異義語や四字熟語の学習に活用した事例（小学校「国語」）
 - ・単元「伝え合う力」での活用。修学旅行で学んだことを発表（小学校「国語」）
 - ・掛け算ゲームを活用して、九九の習得確認をする事例（小学校「生活単元」）
 - ・体験学習の報告プレゼンテーションに活用した事例（小学校「特別活動」）
 - ・地球の温暖化をテーマとした調査活動の発表に活用した事例（小学校「総合的な学習の時間」）
 - ・一次関数の授業でグラフの描画などに活用した事例（中学校「数学」）
 - ・家庭科で環境について調べたことを発表しています（中学校「技術家庭」）
 - ・三角関数の授業で活用した事例（高等学校「数学」）
- ◇特別活用事例
 - ・カリフォルニア州ホイットニー（高等学校「物理」）
 - 平成16年3月6日、Eスクエア・アドバンス成果発表会の映像です
- (4) 付録：
 - ・電子情報ボード機器一覧（各社のページにリンク）
 - ・電子情報ボードで活用できるソフトウェア・コンテンツ（サンプル収録）

希望者に「送料のみ負担」で配付させていただいています。

ただし、送料（振込の場合はその手数料も）はご負担いただきます。

刊行物申込書

<http://www.cec.or.jp/e2a/e2a/moushikom.html>

に記入の上、メール（e2news@cec.or.jp）またはFAXで申込みください。

3. スロバキアからの報告：by上野浩司（沖縄尚学高等学校）

今年度のIEARN世界大会に生徒と共に参加されている沖縄尚学高等学校の上野先生から「近況報告」をいただきました。上野先生の了解を得て、掲載させていただきます。

（e-黒板研究会の会員のみなさまからの投稿をお待ちしています。）

近況報告：

今年のアイアンスロバキア大会は、夏休み中の高校をメイン会場に行っておりますが、いくつかの教室にはプロジェクタが設置されており、スクリーンのない教室は、黒板の上の壁にプロジェクタの画像を映し出すようになっております。（天井が非常に高いのです）

プレゼンを行う時に、黒板のまだ上の画像を示すのはとても不自然で、プレゼンの進行にも少しばかり困りました。生徒6人で、1つのプレゼンを行い、PCの位置にも制限があったため、e-黒板を使って、画面をクリックして次に進めたら楽なのに、とってしまいました。

こちらは非常に涼しく、半袖ではぶるぶると震えることがあります。

本日、生徒と一緒にプレゼンを行いました。昨日は他の方のプレゼンに飛び入りを依頼されました。あと1つ、明後日に最後のプレゼンを行います。

以上

=====
編集・発行：財団法人コンピュータ教育開発センター 関 幸一、南 仁

eknews002.txt

メールアドレス : ekokuban@cec.or.jp

=====